

<PGI 学術講演抄録> ※無断転載を禁じます

最新 Endo 報告

寺内吉継

適切に感染根管治療すれば治癒する歯でも大多数の歯科医は成功率と利益率の高い抜歯・インプラントを選択してしまっているのが現状である。保険診療の点数アップは今後期待できないことからインプラント同様に自費で根管治療することが患者のため、そして我々歯科医師のモチベーションアップと信頼回復のために重要であると考えます。

近年欧米でのエンド成功率は 20 年前と比べ大幅に上昇し続け、インプラントよりも高くなっていることも報告されている。その要因はエンドにおける顕微鏡や CBCT の普及、そして MTA の臨床応用であることは明白である。難治性の根尖性歯周炎の原因も明らかになっていて解決策も出されているのであとは実行するのみである。

また MTA の臨床効果の拡大により抜歯はもちろんのこと抜髄もしないですむようになってきている (Vital Pulp Therapy)。さらに歯髄が壊死した歯も MTA の臨床応用により再生できるようになってきた。講演では近年の最新歯内療法の流れも織り交ぜて様々な Retreatment の解決方法を顕微鏡や CBCT を通して紹介したい。この講演が先生方の明日からの診療に役立てれば幸いです。